

普及活動情勢報告（令和7年1月分）

高吾農業改良普及所

現在の栽培管理状況は？ ～促成高糖度トマト現地検討会を開催～



現地検討会の様子

12月23日、JA高知県日高支所ハウス園芸部が促成高糖度トマトの現地検討会を開催し、7戸が参加しました。

普及所は昨年度の蒸散量の推移を確認しながら、生産者とかん水管理について協議しました。

生産者同士では、「今、少し温度低いのか」などSAWACHIのデータ共有グループの画面を見ながらは場主に確認するなど、活発な意見交換が行われました。

普及所は今後も個別巡回や定期的な栽培講習を通して、促成高糖度トマトの安定生産を図っていきます。

新規就農者・就農状況報告会 ～1年を振り返り～



栽培状況

1月に普及所は関係機関とともに管内の新規就農者7名の就農状況に関する個別面談を行い就農計画に対する進捗状況を確認しました。

農家からは「課題であった作業遅れは無くトマトの栽培管理ができています。目標収量達成に向け後半も頑張りたい」、「花芽分化促進をねらった育苗培土利用では、イチゴの花芽分化が1週間早くなり、結果、年内収量が前年より増加した」など農家自ら、課題に対する取り組み結果について発言する場面が多く、就農年数に応じた栽培管理の率直な意見が出されました。

普及所は農家の目標達成に向けて、栽培技術及び経営安定につながるよう指導を続けていきます。

適正管理で所得の向上を！ ～サンショウの剪定講習会を開催～



講習会の様子

1月20日、越知町片岡地区でヒューマンライフ土佐がサンショウの剪定講習会を開催し、越知町山椒組合の生産者と関係機関職員等計65名が参加しました。普及所はサンショウの特性を踏まえた、作業性や通気性、日照の改善、隔年結果防止に向けた剪定方法を説明しました。

剪定の実演を見た参加者から「剪定量はどれくらいか。」「取り除くべき懐の枝はどれか。」など、熱心に質問が出されました。

サンショウは需要が多いことから、普及所は、今後も栽培指導を継続するとともに、産地の拡大に向けた新植も呼びかけていきます。